

(2) 東北



東北地域では、景気は新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が徐々に緩和されつつある中、持ち直しの動きがみられる。

- ・ 鉱工業生産は持ち直している。
- ・ 個人消費は一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる。
- ・ 雇用情勢は感染症の影響が残る中で、弱い動きとなっているものの、求人等の動きに底堅さが増している。

(注) 下線を付した箇所は、前回からの変更のあった箇所を表す(は上方に変更、 は下方に変更)

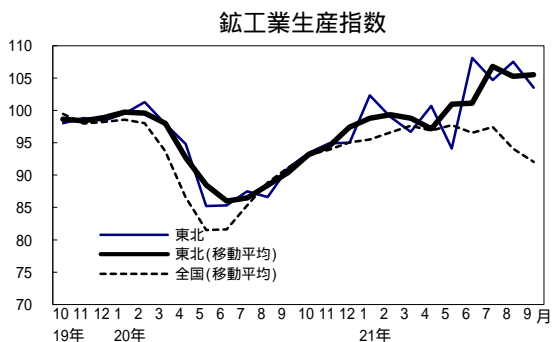
前回からの主要変更点

	前回(令和3年8月)	今回(令和3年12月)
景況判断	新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、一部で弱さが増している	新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が徐々に緩和されつつある中、 <u>持ち直しの動きがみられる</u>
個人消費	サービス支出を中心に弱い動きとなっている	一部に弱さが残るものの、 <u>持ち直しの動きがみられる</u>
雇用情勢	感染症の影響により、弱い動きとなっているなかで、求人数等の動きに底堅さが増している	感染症の影響が残る中で、弱い動きとなっているものの、求人等の動きに底堅さが増している

1. 鉱工業生産の動向

鉱工業生産は持ち直している。

7 - 9月期の鉱工業生産は、電子部品・デバイスはモス型半導体集積回路(メモリ)等が増加したこと、生産用機械は半導体製造装置等が増加したこと等により、前期比4.2%増となった。



(備考) 1. 2015年=100、季節調整値。東北の最新月は速報値。
2. 全国及び東北の太線は中心3か月移動平均。
直近月は2か月平均。

域内主要業種の動向(季節調整値、前期(月)比) (%)

	付加価値 ウェイト	生産				
		4 - 6 月期	7 - 9 月期	7月	8月	9月
電子部品・デバイス	15.3	3.0	15.6	1.2	7.3	0.7
食料品	11.0	2.0	1.7	0.3	0.5	2.4
化学・石油製品	9.1	7.4	22.6	0.1	5.2	5.1
輸送機械	7.9	8.6	1.8	24.7	6.6	32.4
生産用機械	6.7	3.0	17.4	22.0	16.3	1.1
鉱工業	100.0	1.7	4.2	3.1	2.7	3.7

(備考) 1. 地域における付加価値ウェイトの高い5業種。
2. 7 - 9月期、9月は速報値。

2. 個人消費の動向

個人消費は一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる。

(1) 地域別消費総合指数 (RDEI (消費))

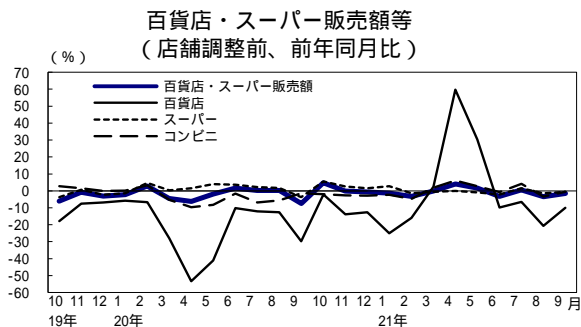
7 - 9月期は前期比2.3%減となった。月別にみると、7月は前月比2.1%減、8月は同1.1%減、9月は同1.7%減となった。

(2) 百貨店・スーパー販売額

百貨店・スーパーは、7 - 9月期は前年同期比 1.5%減となった。月別にみると、7月は前年同月比0.5%増、8月は同3.5%減、9月は同1.6%減となった。

百貨店は、7 - 9月期は前年同期比 12.1%減となった。

スーパーは、7 - 9月期は同0.2%減となった。

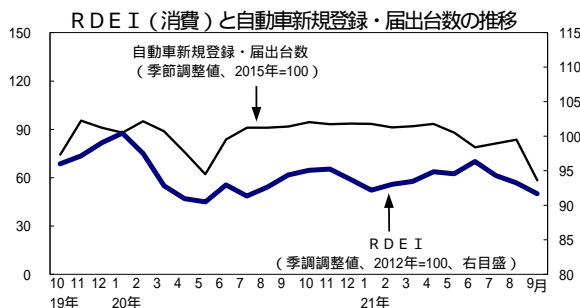


	2021年7-9月	2021年7月	8月	9月
RDEI (消費*1)	2.3	2.1	1.1	1.7
百貨店・スーパー(*2)	1.5	0.5	3.5	1.6
百貨店(*2)	12.1	6.5	20.6	10.0
スーパー(*2)	0.2	1.6	1.4	0.5
コンビニ(*2)	0.0	4.2	3.3	0.6
乗用車(*3)	19.9	11.4	6.6	36.2
(季節調整値)(*3)	14.2	3.1	2.8	30.2

(備考) 1. 季節調整済前期(月)比 (%)

2. 店舗調整前、前年同期(月)比 (%)

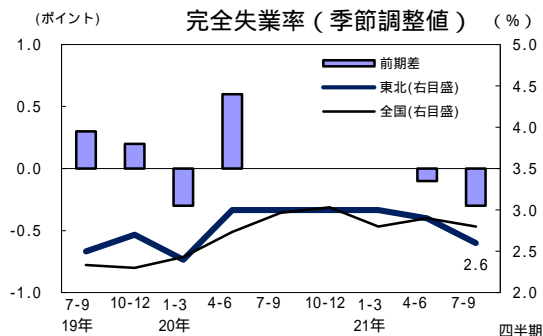
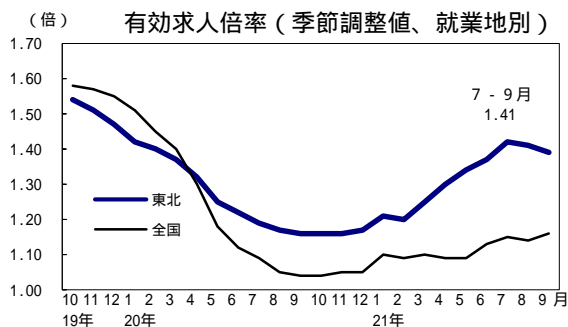
3. 乗用車は、新規登録・届出台数(上段は前年同期(月)比(%))



3. 雇用情勢

雇用情勢は感染症の影響が残る中で、弱い動きとなっているものの、求人等の動きに底堅さが増している。

有効求人倍率は上昇している。完全失業率は前期を下回っている。



(13) 景気ウォッチャー調査 (令和3年10月調査) 景気判断理由の概要

2. 東北

(良、 やや良、 不変、 やや悪、 ×悪)

	判断		判断の理由
	分野	判断	
現状	家計 動向 関連		・戸建て住宅受注は伸びないが、賃貸集合住宅の受注が順調である(住宅販売会社)
			・ワクチン接種が進み、気温が下がったことで購買意欲が戻ってきている印象が強い。コロナ禍で減っていた家族連れやグループでの来店がこの1か月で増加している(百貨店)
			・新型コロナウイルス新規感染者数が減少してきた社会情勢が影響して、家庭内食需要に低下の兆しがみられる。生鮮食料品を中心に販売量の落ち込みが出始めている(スーパー)
	企業 動向 関連		・新型コロナウイルスの新規感染者数が一気に減少し、水面下での景気浮揚のエネルギーは感じるが、現段階では目に見える変化はない(経営コンサルタント)
			・県の緊急事態宣言解除後、店舗の売上が少しずつではあるが右肩上がりになっている。駅周辺の人や車の往来も増えてきており、また飲食店においては家族連れも多くみられるようになった。県独自で実施している食事券の利用も増えてきている(食料品製造業)
雇用 関連		・求人数は製造業だけでなく、小売業、飲食業、宿泊業を含め全体的に増加傾向となっている。ただし、労働力の不足を訴える事業所が多くなっており、成長の阻害要因になるとみられる(職業安定所)	
		・企業における採用や補充、増員などの動きはまだみられない。横ばいが続きそうである(人材派遣会社)	
	その他の特徴 コメント		: 全く予約が入らなかったディナータイムに、最近ほんの僅かだが予約が入り始めた。緊急事態宣言が解除されてからしばらく動きがなかったが、月末になり多少客が戻るような雰囲気が出てきている(一般レストラン) : 相変わらずイベント等の開催が少ないため印刷物が少ない。しかし、新型コロナウイルス対策や選挙絡みの仕事があるため、前々年並みに戻り始めている(出版・印刷・同関連産業)
先行き	家計 動向 関連		・忘年会など人が多く集まる機会が増えるので、酒も売れると予想している(一般小売店[酒])
			・今後の新型コロナウイルス新規感染者数の動向にもよるが、他国では経済活動再開から数か月で感染が拡大、緊急事態宣言が再度出るような状況もみられるので、予断を許さない状況である(コンビニ)
			・非常に不透明ではあるが、客先からの情報では増産傾向にある(金属製品製造業)
	企業 動向 関連		・原材料等々の価格高騰分を価格転嫁できない状況下にある。また、新規案件も依然として価格競争になっており、収益が厳しくなっている(その他企業[協同組合])
		雇用 関連	
	その他の特徴 コメント		: 11月から団体旅行の予約などが復活している。予約客数も一気に増え、期待ができる(テーマパーク) : 前年の今頃から新型コロナウイルスの感染が徐々に拡大していったことを踏まえると、心配な季節がやってくる。悪くなることのないように期待している(タクシー運転手)

(DI) 現状・先行き判断DI(東北)の推移(季節調整値)

